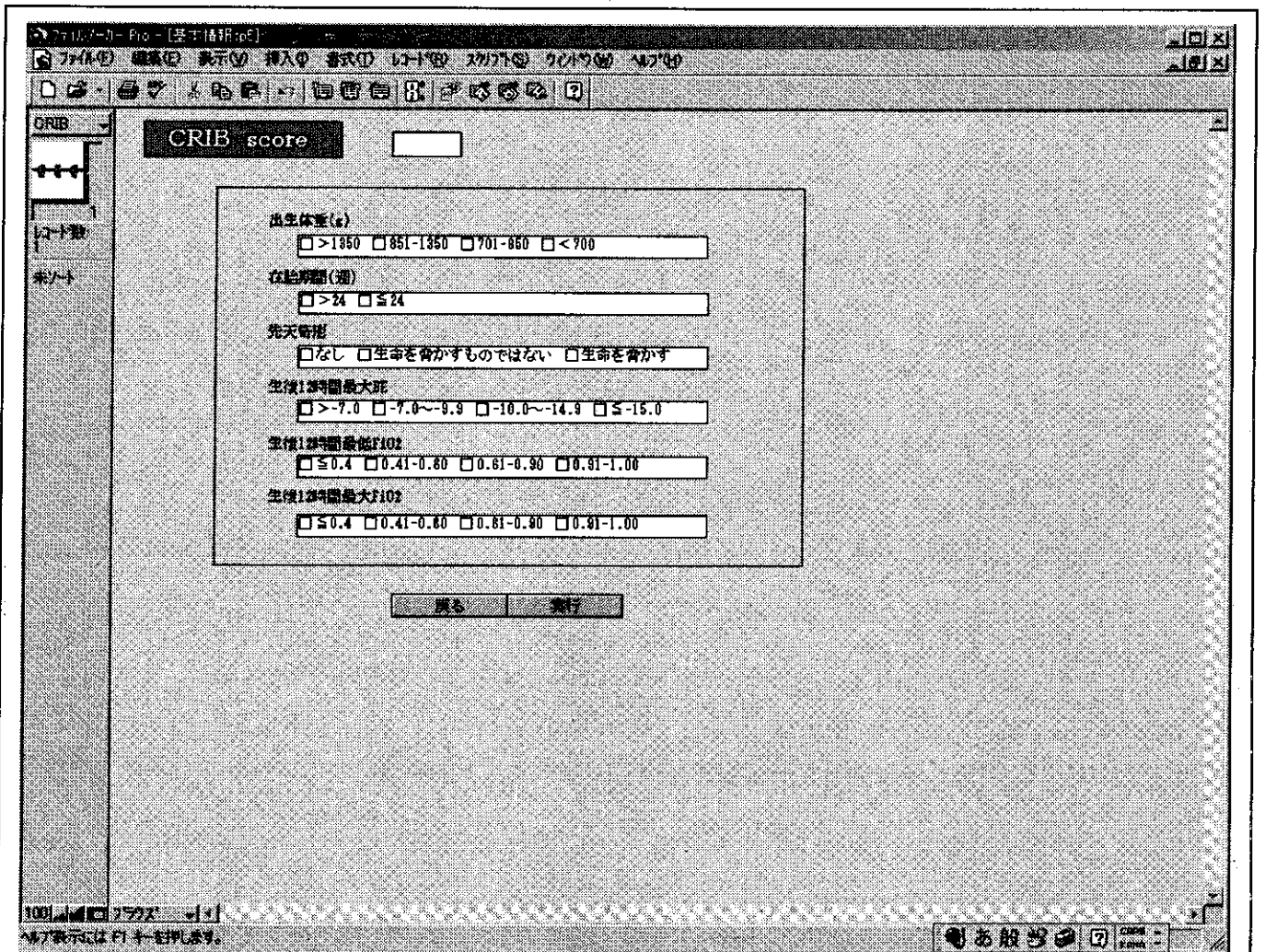


画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	CRIBスコア入力画面	作成者 システムエンジニア部



備考欄

1. 戻るボタンを押下することにより、入力を中止し新生児基本情報入力画面に遷移する。
2. 実行ボタンを押下することにより、入力内容をCRIBscore欄に反映し新生児基本情報入力画面に遷移する。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	項目別充足率表示画面	作成者 システムエンジニア

項目別充足率
100

患者ID	患者氏名	出生年月日	入院日	性別	在胎週	体重	身長	頭圍	胸圍	ア>カ'1分	ア>カ'5分	ICD9-1'	退院年月日
100	山田太郎			男									
101	山本花子			女									

備考欄

1.

データファイル一覧表	院内感染対策サーベイランスシステム	作成日 平成14年10月31日
(サーベイランス提出用)	NICU部門	作成者 システムランニングコーポレーション

名称	備考
患者基本レコード	報告時点での患者ごとに作成
施設情報レコード	報告時点での当該施設の情報を1レコードで作成
感染症個人情報レコード	報告時点までの患者ごと、発症日ごとに作成

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	患者基本情報レコード	作成者 システムエンジニア部

No.	項目名	長さ	仕様
1	施設コード	5	参加医療施設コード(半角数値5桁)
2	データ区分	1	0:施設情報、1:基本情報、2:感染症個人情報
3	患児ID-NO	12	半角英数12桁以内等
4	性別	1	M:男、F:女
5	出生年月日	8	ccyymmdd
6	出生時間	4	hhmm
7	単胎/多胎区分	1	1:単胎、2:多胎
8	胎数	2	整数値
9	胎中n子	2	整数値
10	在胎日	3	整数値
11	出生時体重	4	単位:g、整数値
12	CRIB score	2	整数値(0~23)
13	分娩方法	1	1:自然、2:吸引、3:鉗子、4:予定帝切、5:緊急帝切
14	前期破水	1	1:該当、2:非該当
15	母体使用抗生物質		
16	ICD-10コード1	5	ICD-10コード
17	診断名1	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
18	ICD-10コード2	5	ICD-10コード
19	診断名2	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
20	ICD-10コード3	5	ICD-10コード
21	診断名3	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
22	ICD-10コード4	5	ICD-10コード
23	診断名4	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
24	ICD-10コード5	5	ICD-10コード
25	診断名5	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
26	ICD-10コード6	5	ICD-10コード
27	診断名6	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
28	ICD-10コード7	5	ICD-10コード
29	診断名7	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
30	ICD-10コード8	5	ICD-10コード
31	診断名8	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
32	ICD-10コード9	5	ICD-10コード
33	診断名9	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
34	ICD-10コード10	5	ICD-10コード
35	診断名10	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
36	ICD-10コード11	5	ICD-10コード
37	診断名11	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
38	ICD-10コード12	5	ICD-10コード
39	診断名12	100	ICD-10コードに対応する日本語名称
40	NICU退院時日齢	4	整数値(出生日と退院日から自動算出)
41	入院期間	4	整数値(入院日と退院日から自動算出)
42	感染症による後遺症の有無	1	1:あり、2:なし
43	NICU転帰	1	1:生存、2:死亡
44	診療点数	8	整数値

備考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	患者基本情報レコード	作成者 システムプログラミング部

No.	項目名	長さ	仕様
45	3歳時における発達予後	1	1:正常、2:境界、3:MR
46	3歳時における神経学的予後	1	1:CP、3:テンカン、3:重傷心身障害
47	頭蓋内出血 III度	1	1:該当、2:非該当
48	頭蓋内出血 IV度	1	1:該当、2:非該当
49	CysticPVL有無	1	1:あり、2:なし
50	網膜症	1	1:あり、2:なし
51	交換輸血 有無	1	1:あり、2:なし
52	交換輸血 回数	3	整数値
53	酸素投与有無	1	1:あり、2:なし
54	酸素投与開始日齢1	4	整数値
55	酸素投与終了日齢1	4	整数値
56	酸素投与開始日齢2	4	整数値
57	酸素投与終了日齢2	4	整数値
58	酸素投与開始日齢3	4	整数値
59	酸素投与終了日齢3	4	整数値
60	酸素投与開始日齢4	4	整数値
61	酸素投与終了日齢4	4	整数値
62	酸素投与開始日齢5	4	整数値
63	酸素投与終了日齢5	4	整数値
64	酸素投与開始日齢6	4	整数値
65	酸素投与終了日齢6	4	整数値
66	酸素投与開始日齢7	4	整数値
67	酸素投与終了日齢7	4	整数値
68	酸素投与開始日齢8	4	整数値
69	酸素投与終了日齢8	4	整数値
70	酸素投与開始日齢9	4	整数値
71	酸素投与終了日齢9	4	整数値
72	酸素投与開始日齢10	4	整数値
73	酸素投与終了日齢10	4	整数値
74	酸素投与延べ日数	3	整数値
75	人工換気有無	1	1:あり、2:なし
76	人工換気開始日齢1	4	整数値
77	人工換気終了日齢1	4	整数値
78	人工換気開始日齢2	4	整数値
79	人工換気終了日齢2	4	整数値
80	人工換気開始日齢3	4	整数値
81	人工換気終了日齢3	4	整数値
82	人工換気開始日齢4	4	整数値
83	人工換気終了日齢4	4	整数値
84	人工換気開始日齢5	4	整数値
85	人工換気終了日齢5	4	整数値
86	人工換気開始日齢6	4	整数値
87	人工換気終了日齢6	4	整数値
88	人工換気開始日齢7	4	整数値

備考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成 14 年 10 月 31 日
サーベイランス提出用	患者基本情報レコード	作成者 システムエンジニア部

No.	項目名	長さ	仕様
89	人工換気終了日齢7	4	整数値
90	人工換気開始日齢8	4	整数値
91	人工換気終了日齢8	4	整数値
92	人工換気開始日齢9	4	整数値
93	人工換気終了日齢9	4	整数値
94	人工換気開始日齢10	4	整数値
95	人工換気終了日齢10	4	整数値
96	人工換気延べ日数	3	整数値
97	中心静脈カテーテル使用有無	1	1:あり、2:なし
98	中心静脈カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
99	中心静脈カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
100	中心静脈カテーテル装着開始日齢2	4	整数値
101	中心静脈カテーテル装着終了日齢2	4	整数値
102	中心静脈カテーテル装着開始日齢3	4	整数値
103	中心静脈カテーテル装着終了日齢3	4	整数値
104	中心静脈カテーテル装着開始日齢4	4	整数値
105	中心静脈カテーテル装着終了日齢4	4	整数値
106	中心静脈カテーテル装着開始日齢5	4	整数値
107	中心静脈カテーテル装着終了日齢5	4	整数値
108	中心静脈カテーテル装着開始日齢6	4	整数値
109	中心静脈カテーテル装着終了日齢6	4	整数値
110	中心静脈カテーテル装着開始日齢7	4	整数値
111	中心静脈カテーテル装着終了日齢7	4	整数値
112	中心静脈カテーテル装着開始日齢8	4	整数値
113	中心静脈カテーテル装着終了日齢8	4	整数値
114	中心静脈カテーテル装着開始日齢9	4	整数値
115	中心静脈カテーテル装着終了日齢9	4	整数値
116	中心静脈カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
117	中心静脈カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
118	中心静脈カテーテル装着延べ日数	3	整数値
119	高カロリー輸液使用有無	1	1:あり、2:なし
120	高カロリー輸液使用開始日齢1	4	整数値
121	高カロリー輸液使用終了日齢1	4	整数値
122	高カロリー輸液使用開始日齢2	4	整数値
123	高カロリー輸液使用終了日齢2	4	整数値
124	高カロリー輸液使用開始日齢3	4	整数値
125	高カロリー輸液使用終了日齢3	4	整数値
126	高カロリー輸液使用開始日齢4	4	整数値
127	高カロリー輸液使用終了日齢4	4	整数値
128	高カロリー輸液使用開始日齢5	4	整数値
129	高カロリー輸液使用終了日齢5	4	整数値
130	高カロリー輸液使用開始日齢6	4	整数値
131	高カロリー輸液使用終了日齢6	4	整数値
132	高カロリー輸液使用開始日齢7	4	整数値

備 考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	患者基本情報レコード	作成者 沼尻アツシ

No.	項目名	長さ	仕様
133	高カロリー輸液使用終了日齢7	4	整数値
134	高カロリー輸液使用開始日齢8	4	整数値
135	高カロリー輸液使用終了日齢8	4	整数値
136	高カロリー輸液使用開始日齢9	4	整数値
137	高カロリー輸液使用終了日齢9	4	整数値
138	高カロリー輸液使用開始日齢10	4	整数値
139	高カロリー輸液使用終了日齢10	4	整数値
140	高カロリー輸液使用延べ日数	3	整数値
141	臍帯動脈カテーテル使用有無	1	1:あり、2:なし
142	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
143	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
144	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢2	4	整数値
145	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢2	4	整数値
146	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢3	4	整数値
147	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢3	4	整数値
148	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢4	4	整数値
149	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢4	4	整数値
150	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢5	4	整数値
151	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢5	4	整数値
152	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢6	4	整数値
153	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢6	4	整数値
154	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢7	4	整数値
155	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢7	4	整数値
156	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢8	4	整数値
157	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢8	4	整数値
158	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢9	4	整数値
159	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢9	4	整数値
160	臍帯動脈カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
161	臍帯動脈カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
162	臍帯動脈カテーテル装着延べ日数	3	整数値
163	臍帯静脈カテーテル使用有無	1	1:あり、2:なし
164	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
165	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
166	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢2	4	整数値
167	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢2	4	整数値
168	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢3	4	整数値
169	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢3	4	整数値
170	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢4	4	整数値
171	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢4	4	整数値
172	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢5	4	整数値
173	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢5	4	整数値
174	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢6	4	整数値
175	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢6	4	整数値
176	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢7	4	整数値

備考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	患者基本情報レコード	作成者 システムエンジニアリング部

No.	項目名	長さ	仕様
177	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢7	4	整数値
178	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢8	4	整数値
179	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢8	4	整数値
180	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢9	4	整数値
181	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢9	4	整数値
182	臍帯静脈カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
183	臍帯静脈カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
184	臍帯静脈カテーテル装着延べ日数	3	整数値
185	末梢動脈カテーテル使用有無	1	1:あり、2:なし
186	末梢動脈カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
187	末梢動脈カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
188	末梢動脈カテーテル装着開始日齢2	4	整数値
189	末梢動脈カテーテル装着終了日齢2	4	整数値
190	末梢動脈カテーテル装着開始日齢3	4	整数値
191	末梢動脈カテーテル装着終了日齢3	4	整数値
192	末梢動脈カテーテル装着開始日齢4	4	整数値
193	末梢動脈カテーテル装着終了日齢4	4	整数値
194	末梢動脈カテーテル装着開始日齢5	4	整数値
195	末梢動脈カテーテル装着終了日齢5	4	整数値
196	末梢動脈カテーテル装着開始日齢6	4	整数値
197	末梢動脈カテーテル装着終了日齢6	4	整数値
198	末梢動脈カテーテル装着開始日齢7	4	整数値
199	末梢動脈カテーテル装着終了日齢7	4	整数値
200	末梢動脈カテーテル装着開始日齢8	4	整数値
201	末梢動脈カテーテル装着終了日齢8	4	整数値
202	末梢動脈カテーテル装着開始日齢9	4	整数値
203	末梢動脈カテーテル装着終了日齢9	4	整数値
204	末梢動脈カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
205	末梢動脈カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
206	末梢動脈カテーテル装着延べ日数	3	整数値
207	膀胱留置カテーテル使用有無	1	1:あり、2:なし
208	膀胱留置カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
209	膀胱留置カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
210	膀胱留置カテーテル装着開始日齢2	4	整数値
211	膀胱留置カテーテル装着終了日齢2	4	整数値
212	膀胱留置カテーテル装着開始日齢3	4	整数値
213	膀胱留置カテーテル装着終了日齢3	1	1:あり、2:なし
214	膀胱留置カテーテル装着開始日齢4	4	整数値
215	膀胱留置カテーテル装着終了日齢4	4	整数値
216	膀胱留置カテーテル装着開始日齢5	4	整数値
217	膀胱留置カテーテル装着終了日齢5	4	整数値
218	膀胱留置カテーテル装着開始日齢6	4	整数値
219	膀胱留置カテーテル装着終了日齢6	4	整数値
220	膀胱留置カテーテル装着開始日齢7	4	整数値

備考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	患者基本情報レコード	作成者 システムプログラミング部

No.	項目名	長さ	仕様
221	膀胱留置カテーテル装着終了日齢7	4	整数値
222	膀胱留置カテーテル装着開始日齢8	4	整数値
223	膀胱留置カテーテル装着終了日齢8	4	整数値
224	膀胱留置カテーテル装着開始日齢9	4	整数値
225	膀胱留置カテーテル装着終了日齢9	4	整数値
226	膀胱留置カテーテル装着開始日齢1	4	整数値
227	膀胱留置カテーテル装着終了日齢1	4	整数値
228	膀胱留置カテーテル装着延べ日数	3	整数値
229	経鼻栄養チューブ使用有無	1	1:あり、2:なし
230	経鼻栄養チューブ装着開始日齢1	4	整数値
231	経鼻栄養チューブ装着終了日齢1	4	整数値
232	経鼻栄養チューブ装着開始日齢2	4	整数値
233	経鼻栄養チューブ装着終了日齢2	4	整数値
234	経鼻栄養チューブ装着開始日齢3	4	整数値
235	経鼻栄養チューブ装着終了日齢3	4	整数値
236	経鼻栄養チューブ装着開始日齢4	4	整数値
237	経鼻栄養チューブ装着終了日齢4	4	整数値
238	経鼻栄養チューブ装着開始日齢5	4	整数値
239	経鼻栄養チューブ装着終了日齢5	4	整数値
240	経鼻栄養チューブ装着開始日齢6	4	整数値
241	経鼻栄養チューブ装着終了日齢6	4	整数値
242	経鼻栄養チューブ装着開始日齢7	4	整数値
243	経鼻栄養チューブ装着終了日齢7	4	整数値
244	経鼻栄養チューブ装着開始日齢8	4	整数値
245	経鼻栄養チューブ装着終了日齢8	4	整数値
246	経鼻栄養チューブ装着開始日齢9	4	整数値
247	経鼻栄養チューブ装着終了日齢9	4	整数値
248	経鼻栄養チューブ装着開始日齢10	4	整数値
249	経鼻栄養チューブ装着終了日齢10	4	整数値
250	経鼻栄養チューブ装着延べ日数	3	整数値
251	十二指腸栄養チューブ使用有無	1	1:あり、2:なし
252	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢1	4	整数値
253	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢1	4	整数値
254	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢2	4	整数値
255	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢2	4	整数値
256	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢3	4	整数値
257	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢3	4	整数値
258	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢4	4	整数値
259	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢4	4	整数値
260	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢5	4	整数値
261	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢5	4	整数値
262	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢6	4	整数値
263	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢6	4	整数値
264	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢7	4	整数値

備考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	患者基本情報レコード	作成者 システムエンジニア部

No.	項目名	長さ	仕様
265	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢7	4	整数値
266	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢8	4	整数値
267	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢8	4	整数値
268	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢9	4	整数値
269	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢9	4	整数値
270	十二指腸栄養チューブ装着開始日齢1	4	整数値
271	十二指腸栄養チューブ装着終了日齢1	4	整数値
272	十二指腸栄養チューブ装着延べ日数	3	整数値
273	3歳時新版K式DQ 運動	3	整数値
274	4歳時新版K式DQ 認識	3	整数値
275	3歳時新版K式DQ 言語	3	整数値

備考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	施設情報レコード	作成者 沼田 洋子

No.	項目名	長さ	仕様
1	施設コード	5	参加医療施設コード(半角数値5桁)
2	データ区分	1	0:施設情報、1:基本情報、2:感染症個人情報
3	報告年月	6	ccyyymm
4	年間人工換気症例数	3	整数値
5	病院の形態	2	整数値(詳細は備考に記載)
6	NICU病床数	2	整数値
7	GCU病床数	2	整数値
8	病棟勤務医師数	2	整数値
9	医師当直回数(月)	2	整数値
10	病棟勤務看護婦数	2	整数値
11	看護婦の夜勤担当患児数	2	整数値
12	感染対策委員会	1	1:あり、2:なし
13	ICT	1	1:あり、2:なし
14	NICU感染係	1	1:あり、2:なし
15	感染対策マニュアル	1	1:あり、2:なし
16	MRSA	1	1:あり、2:なし
17	緑膿菌	1	1:あり、2:なし
18	カンジダ	1	1:あり、2:なし
19	その他菌名	4	菌名コード(半角数値4桁)
20	NICUからMRSAが消えた期間	1	1:あり、2:なし
21	MRSAが消失していた期間	2	整数値
22	職員のMRSA保菌率	2	整数値
23	保菌職員のMRSA除菌	1	1:あり、2:なし
24	患児のMRSA保菌率	2	整数値
25	保菌患児のMRSA除菌	1	1:あり、2:なし

備考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	感染症個人情報レコード	作成者 システムエンジニアリング部

No.	項目名	長さ	仕様
1	施設コード	5	参加医療施設コード(半角数値5桁)
2	データ区分	1	0:施設情報、1:基本情報、2:感染症個人情報
3	患児ID-NO	12	半角英数12桁以内等
4	発症日	8	ccyyymmdd
5	発症日齢	4	整数値
6	敗血症(確定診断)	1	1:該当、2:非該当
7	敗血症(臨床診断)	1	1:該当、2:非該当
8	肺炎(非挿管例/確定診断)	1	1:該当、2:非該当
9	肺炎(挿管例/確定診断)	1	1:該当、2:非該当
10	髄膜・脳室炎(確定診断)	1	1:該当、2:非該当
11	尿路感染(確定診断)	1	1:該当、2:非該当
12	血流感染	1	1:該当、2:非該当
13	NEC(確定診断)	1	1:該当、2:非該当
14	腸炎	1	1:該当、2:非該当
15	カンジダ(臨床診断)	1	1:該当、2:非該当
16	NTED(確定診断)	1	1:該当、2:非該当
17	SSSS(確定診断)	1	1:該当、2:非該当
18	肝炎(確定診断)	1	1:該当、2:非該当
19	その他 静脈炎	1	1:該当、2:非該当
20	その他 動脈炎	1	1:該当、2:非該当
21	その他 ぼうか織炎	1	1:該当、2:非該当
22	その他 爪炎	1	1:該当、2:非該当
23	その他 結膜炎	1	1:該当、2:非該当
24	その他 外耳炎	1	1:該当、2:非該当
25	その他 中耳炎	1	1:該当、2:非該当
26	その他 膿胸	1	1:該当、2:非該当
27	その他 心筋炎	1	1:該当、2:非該当
28	その他 心内膜炎	1	1:該当、2:非該当
29	その他 関節炎	1	1:該当、2:非該当
30	その他 骨髄炎	1	1:該当、2:非該当
31	その他 舌下腺炎	1	1:該当、2:非該当
32	その他 顎下腺炎	1	1:該当、2:非該当
33	その他の炎症(炎症部位不明)	1	1:該当、2:非該当 (CRP値 2以上)
34	検体番号	15	整数値
35	使用薬剤略名1	7	
36	検査結果1	1	S、I、R
37	使用薬剤略名2	7	
38	検査結果2	1	S、I、R
39	使用薬剤略名3	7	
40	検査結果3	1	S、I、R
41	使用薬剤略名4	7	
42	検査結果4	1	S、I、R
43	使用薬剤略名5	7	
44	検査結果5	1	S、I、R

備考

データフォーマット定義書	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年10月31日
サーベイランス提出用	感染症個人情報レコード	作成者 システムプランニングコーポレーション

No.	項目名	長さ	仕様
45	使用薬剤略名6	7	
46	検査結果6	1	S、I、R
47	使用薬剤略名7	7	
48	検査結果7	1	S、I、R
49	使用薬剤略名8	7	
50	検査結果8	1	S、I、R
51	使用薬剤略名9	7	
52	検査結果9	1	S、I、R
53	使用薬剤略名10	7	
54	検査結果10	1	S、I、R
55	使用薬剤略名11	7	
56	検査結果11	1	S、I、R
57	使用薬剤略名12	7	
58	検査結果12	1	S、I、R
59	使用薬剤略名13	7	
60	検査結果13	1	S、I、R
61	使用薬剤略名14	7	
62	検査結果14	1	S、I、R
63	使用薬剤略名15	7	
64	検査結果15	1	S、I、R
65	使用薬剤略名16	7	
66	検査結果16	1	S、I、R
67	使用薬剤略名17	7	
68	検査結果17	1	S、I、R
69	使用薬剤略名18	7	
70	検査結果18	1	S、I、R
71	γグロブリン投与	1	1:該当、2:非該当
72	血液製剤投与	1	1:該当、2:非該当
73	G-CSF投与	1	1:該当、2:非該当
74	交換輸血	1	1:該当、2:非該当
75	外科的処置	1	1:該当、2:非該当
76	顆粒球輸注	1	1:該当、2:非該当

備考

20021022

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

「研究成果の刊行に関する一覧表」

「院内感染ガイドライン」は医療の質を改善させられるか? 医療と安全

榊原陽子, 武澤純

現代医学. 50 巻 1 号, Page171-175(2002.07)

厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業 ICU 部門報告 (特集)
サーベイランスをどう生かすか

榊原陽子, 武澤純

INFECTION CONTROL. 11 巻 5 号, Page530-536(2002.05)

本邦における病院感染診療ガイドライン策定の動向 (総論) 病院感染
対策の進歩 最新研究動向と展望

榊原陽子, 武澤純

日本臨床. 60 巻 11 号, Page2084-2089(2002.11)

新生児病棟/NICU MRSA 感染症の予防と対策 (特集) 周産期の感染
防止対策

北島博之

周産期医学. 32 巻 7 号, Page967-973(2002.07)

感染予防の基本 (特集) 新人スタッフのための正常新生児のケア

北島博之

ペリネイタルケア. 21 巻 4 号, Page300-306(2002.04)

21 世紀の新生児集中治療室の設計を考える 鹿児島市立病院新生児セ
ンター

茨聡, 武弘道

病院. 60 巻 6 号, Page520-524(2001.06)

なぜ、いま「クリニカルパス」なのか 看護を変える!クリニカルパスの可能性

側島久典

Neonatal Care. 16 巻 2 号, Page100-104(2003.02)

新生児重症細菌感染症の治療戦略 (特集) 小児科医に必要な新生児の知識

側島久典

小児科診療. 66 巻 3 号, Page459-465(2003.03)

カイロ大学特殊小児病院救急プロジェクト 海外レポート

側島久典

Neonatal Care. 15 巻 4 号, Page326-332(2002.04)

輸液製剤の配合禁忌 (特集) 新生児の輸液

側島久典

周産期医学. 32 巻 11 号, Page1535-1538(2002.11)

超低出生体重児の上気道常在細菌叢と口腔内母乳塗布の MRSA 保菌への影響

鈴木昭子, 中村友彦, 小宮山淳, 田村正徳

日本小児科学会雑誌. 107 巻 3 号, Page480-483(2003.03)

Fetal Inflammatory Response Syndrome(FIRS)と早産児の疾患(尿中 β 2-microglobulin 値を指標とした臨床的モニタリング) (原著)

島義雄, 西巻滋, 藤田敦士, 馬場千晶, 折本瑞恵, 藤村樹里, 松本多絵

日本新生児学会雑誌. 38 巻 4 号, Page743-747(2002.12)

結核合併妊婦より出生した新生児 13 例の検討 (原著)

安ひろみ, 今川智之, 森雅亮, 西巻滋, 立石格, 関和男, 横田俊平, 遠藤方哉, 石川浩史, 安藤紀子, 高橋恒男, 平原史樹

日本新生児学会雑誌. 38 巻 3 号, Page545-550(2002.08)

V. 研究班會議議事錄

平成 14 年度厚生科学研究費補助金 医薬安全総合安全研究事業
「新生児及び乳幼児の MRSA 感染等の院内感染のリスク評価および対策に関する研究」班
第 1 回班会議議事録（検討会）

日時：4 月 19 日（金）午後 6 時から 8 時半まで、

場所：名大病院 14 階会議室

出席者：武澤、北島、志賀、堀内、亀田、宮澤、吉村、

1. 入力項目の確定と訂正

- ・ NICU サーベイランス入力項目の確定と、誤植の訂正を行なった
- ・ 今後入力項目の必須入力項目と研究用入力項目を色分けする予定
- ・ 入力項目のうち、細菌コード表の 9999（自由入力）を使ってウイルスが入らないか？
（3 桁のコードで新しく作ってみてはとの考え方もあるが）
NICU で必要なのは、エンテロウイルス系・アデノ系・ヘルペス群・RSV・Rubella くらいで多くない

2. 入力作業に関して

- ・ 各病院で退院サマリーなどに連携させて退院後に順次入力を行なう
実際の入力開始は 7 月 1 日の予定
- ・ excel, ファイルメーカープロ,あるいは 4D などのソフトで作ったサマリーに連携させ CSV, file などで出力する方式にする
- ・ そのため、十印の吉村さんから各 NICU で使用しているソフトと、病院コンピューターの形を聞き合わせてもらい、各 NICU の情報を吉村さんへ送る
- ・ 連携の必要な部分の処理工数を吉村さんに評価してもらい、予算を立てて連結処理をしていただく（7-8 月までに）。これを本年度の主な予算として計上する

3. その他

- ・ MRSA 保菌率動向の監視：患児・職員の MRSA 保菌率の 6 ヶ月毎の定期検査
（班員全員）：使用培地は以下のものを使用するとよいと思われます。
KK 日研生物医学研究所： TEL 075-631-6187 , FAX 075-632-0367
マーサチェック（鼻腔用） No. BT1428 SN-P 1 本 100 円（50 本入り 1 箱）
- ・ 保険診療点数の把握：費用発生の差を調査
各病院で、児が退院すれば自動的に保険診療点数が出力されるように、依頼しておいて下さい。

4. NICU サーベイランスチームの構成変化について

- ・ 福岡こども病院の近藤乾先生の後任に国立九州医療センターの佐藤和夫先生がなられます
- ・ 福岡こども病院は引き続き協力病院として飯田浩一先生が参加されます。
- ・ さらに横浜市立大学 NICU が同じく協力病院として西巻滋先生が参加されます

平成 14 年度厚生科学研究費補助金 医薬安全総合安全研究事業
「新生児及び乳幼児の MRSA 感染等の院内感染のリスク評価および対策に関する研究」班
第 1 回 班会議議事録 (本会議)

日時：6 月 2 日 (日) 午後 1 時から 4 時まで、

場所：国立感染症研究所共用第 2 会議室 新宿区戸山 1-12-1

出席者：武澤、荒川、金井、北島、志賀、茨、早川、西巻、満田、飯田、宮澤、中村、吉村、小林

欠席者：太田、佐藤、MEDIS

議題：

- 1) 厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業 NICU 班の事業内容/厚生労働省担当官金井要先生が就任
・厚生労働省へのデータ送付は毎月行って欲しい。「季報は出せるように」ということで説明有り
- 2) 研究班としての活動目標とスケジュール/武澤
 - ・ 7 月退院分から入力開始して、来年 3 月には、半年の報告を出す
 - ・ 研究協力者であった西巻 (満田)・早川の各先生方も分担研究者とする
- 3) NICU サーベイランス入力ソフトとマニュアルの説明/北島 (吉村)
 - ・ 添付のファイルで校正は 6 月 10 日までに吉村様まで送付のこと
- 4) 院内感染サーベイランスに関する関連研究班の活動状況/荒川
 - ・ 先行する国立病院・ICU・検査部門でもフロッピーでの送付は大変
 - ・ 電子的に送れる方法を模索中
- 5) 事務手続きの確認/小林

NICU 班の本年度の課題

1. 試行サーベイ：6 月中に 1 週間→問題あれば訂正へ→完成したら速やかに各施設に送付する
2. 本サーベイ：7 月退室分から開始→提出頻度を決定する→季報は 7-9 月、10-12 月と 2 回作成、今年中に電子的なデータ送付方法を決定する
3. データ収集、解析、確定、配布の年間スケジュールを決定する→安全対策課、研究班、MEDIS、十印
4. サーバ運用手順の決定→本年中に完成させる
5. 施設間比較方法の概要決定
 - (ア) 体重別収容患者数/割合
 - (イ) 体重別患者死亡率 (感染/非感染)
 - (ウ) 体重別、デバイス別感染患者数/割合
 - (エ) 体重別、リスクで調整した感染率
6. 解析上の課題
 - (ア) CRIB スコア有効性の検討
 - (イ) 有意差検定法の確定→聖マリの吉田先生と相談する
7. 来年度研究班の構成

参考 (今後の検討課題)

1. MRSA の遺伝子解析の実施→太田先生に集める
2. 研究班用の施設データの解析法の確立→吉田先生
3. 本年度分担研究者テーマの決定
4. NICU 院内感染対策マニュアルの策定

追加報告：会議の時に発言を忘れていましたので-----6 月中に職員の MRSA 鼻腔検査の実施をよろしく
お願いします。(12 月と併せて年 2 回) 培地は以下に記します。

MRSA 保菌率動向の監視：患児・職員の MRSA 保菌率の 6 ヶ月毎の定期検査

(班員全員)：使用培地は以下のものを使用するとよいと思われます。

KK 日研生物医学研究所： TEL 075-631-6187 , FAX 075-632-0367

マーサチェック (鼻腔用) No. BT1428 SN-P 1 本 100 円 (50 本入り 1 箱)

NICU 班打ち合わせ会議

出席：武澤、北島、吉村

日時：平成 14 年 10 月 20 日 13-16 時

場所：名古屋大学病院東病棟 8 階小会議室

1. 参加施設独自の入力 DB から抽出して NICU 入力ソフトへのデータの移行支援ソフトの開発を行う（この移行ソフトの開発に研究費が使われるために、従来の分担研究者の研究費は大幅に縮小せざるを得ないことの下承を頂く）
 - (ア) 現在使用中の各施設独自の入力ソフトの確認をする→各施設から入力ソフトを送ってもらう（武澤/北島が依頼して、吉村さんの所に情報を集める）患者の名前だけ消す様に依頼する）
 - ① 作成期間：2 ヶ月
 - ② 費用：総額 500 万以内（予備 100 万）、役務費も確保（1 業務 10 万程度）
 - (イ) MRSA 保存株を太田先生に送る（入院中であれば荒川先生に送る）
2. 報告様式の確定
 - (ア) 総務省報告書形式：確認したので、予定通り作成する
 - (イ) 研究班：施設間比較
 - ① 単純感染率・体重別
 - ② リスク調整感染率・体重別
 - ③ 感性・耐性・非感染
 - ④ 死亡率：感性・耐性・非感染
 - ⑤ CRIB の評価
 - ⑥ MRSA 感染の施設間比較
 - ⑦ リスク因子の解析→吉田/濱島先生に相談する
 - (ウ) データの送付
 - ① 今回は FD（10 月末日締め切り）、次回（1 月中旬）からはサーバ受付を試みる
 - ② 11 月中に 3 カ月のデータの解析を行う、
 - ③ 2 月末までに 6 カ月のデータ解析を行う
 - (エ) 今後の予定
 - ① 学会 12/16-18 未熟児新生児学会で会合：3 ヶ月間のデータ公開（第 2 回班会議：厚生省へ出席依頼をする）12/17 午後 7 - 8 時まで大阪国際会議場
 - ② 3 月中旬に第 3 班会議（最終）場所は鹿児島で行う
 - ③ 11 月中に別に班会議をもつかの意見聴取を行う。
 - (オ) 研究報告書のテーマ：後日、北島先生からご相談またはご依頼がありますので、